



絵本の世界にようこそ

読み聞かせ
を楽しもう

絵本

は子育ての
味方

絵本は お勉強のためのもの？

いえいえ

絵本は

みんなのお友だちです！

楽しい世界へのとびら

さあ めくってみましょう

絵本の楽しさ

読む

見る

さわる

遊ぶ

聞く

気持ちを動かす

絵本は どんな風に読んだら
楽しいかな？

さあ ひらいてみよう！

【協力】 絵本作家
ひらぎみつえ



絵本の楽しみ方 いろいろ

絵本の絵を
まねっこすると
楽しい!

「出るかな出るかな…
出た〜!」で、
ワクワクしよう

裏表紙の絵も
楽しいね

決めゼリフは
「せーの」で
声を一緒に出そう

お気に入りの場面
ママも好き
なんだって!
うれしいね



子どもが自分で
めくってみるのも
いいね!

いつもと
ちがう声で
読んでみても
楽しい!

最後は
「お~しまい!」って
一緒に言ってみよう

どの絵本にしようかな?
と思ったら、
まずは子どもに聞いてみて!

どんな絵本を読んであげたらいいの?と思ったら、子どもと一緒に本屋さんや図書館へ行ってみましょう。大好きで離さない!という絵本がきっとあります。親子で一緒に好きになる本がいいですが、もしかしたら、お父さんやお母さんには「なんでおもしろいかわからない」絵本もあるかもしれません。そうしたら、「この子はどうしてこれが好きなのかな?」と研究しながら読むのもおもしろいですよ。

絵本を子育ての 味方にしよう

絵本はお友だちです。「こんな楽しい世界があるよ、一緒に遊びにいこうよ!」と誘ってくれます。そんな絵本は、ただ楽しいだけでなく、子育てで困ったときに、頼れる味方になってくれます。ぜひ、絵本を子育ての味方にしてください。

子どもが好きなものや 考えていることがわかる

乗り物が好きな子、動物が好きな子、いろいろな「好き」がありますよね。同じ場面でも何度でも爆笑する!ということも。まだ言葉が出なくても、子どもの好きなものがかかるのが、絵本のいいところです。ふだん、子どもとなかなか遊べないというパパも、大好きな絵本で、子どもの今の「マイブーム」がわかる、ということもあります。

イライラしたときの クールダウンになる

おうちで親子二人っきりしていると、イライラしてしまうこともあります。大人同士ならちょっと離れてクールダウンということもできますが、親子だとそうもいきません。そういうとき、絵本の出番です。最初はイライラした声で読んでいても、二人で絵本の世界に入ってしまうと、自然と仲直りできますね。

絵本的な発想で 新しい楽しさをつくる!

子どもは、ふだんから絵本の世界で空想を楽しんでいます。大人も子ども時代の感覚を取り戻してみましょ。たとえば、イスやくつ下などになりきって、話しかけてみたり。子どもはきっと、素直にその設定に合わせて返してくれるでしょう。絵本が手元になくても、絵本のような世界を作り出して楽しむことができます。

絵本

は「幸せな思い出スイッチ」になります

映画を観た記憶は、一緒に映画館に行った人のこととセットで思い出しませんか？絵本もそれと同じで、読み聞かせてくれた人や、一緒に読んだお友だちのことも思い出すのだと思います。絵本は、そんな幸せな記憶の「思い出スイッチ」になるのです。

私は絵本を作っていますが、絵本は、読んでくれる人がいて、読まれて初めて完成するものなんだと感じています。大好きな絵本は、一緒に読んだ人の愛情や、楽しい思い出と一緒に子どもの心にインプットされているのでしょうか。同じ絵本を、子どもが何度も「読んで」とせがむのは、愛情をもって読んでもらっている証拠です。子どもは成

長するとともに、大変な経験もします。そのとき親がそばにいられるとは限りませんよね。だけど、こうして幸せスイッチをたくさん仕込んでもらったら、つらいときでも何かの拍子にスイッチが作動して、幸せな思い出に助けられることもあるでしょう。だから、絵本を読んであげたいと思うし、大人も子どもも楽しめる、愛される絵本を作りたいと思っています。

絵本作家
ひらぎみつえ
<https://mitty.info/>



ツナガリウィークエンドとは？

障害のある子どもない子ども、子どもから大人まであそんでまなぶオンラインイベントです。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、毎年開催する屋外イベント「ツナガリウォーク」のオンライン版として2020年9月に開催されました。

まなびと あそびの コンテンツ

ツナガリウィークエンドで実施したオンラインワークショップです。これを含め、3つのテーマをリーフレットにしています。

お口の話
あしの話
絵本の話



ヨコハマプロジェクトについて

ダウン症のある人との出会いをきっかけに発想した、「多様性」をコンセプトに活動する団体です。障がいのある人もない人も、互いを認め合い、ともに力を発揮できる社会づくり、そして、逆境を成長につなげられるレジリエントな社会づくりへの貢献をめざし、横浜を拠点に活動しています。これまでに、「ダウン症のある暮らし」(2015年)、「ダウン症のあるフランスの暮らし 日本暮らし」(2019年)「ダウン症のあるヨコハマの暮らし」(2020年)を発行。

このリーフレットのお問い合わせ先

ツナガリウィークエンド

<https://yokohamapi.org/tw2020>

ヨコハマ  プロジェクト

<https://yokohamapi.org>

